

奨励賞

I 新築の建物
I-3 商業・業務・交通系・宿泊・その他の建物



設計担当者

遠藤克彦

(株) 遠藤克彦建築研究所、東京建築士会

©Neoplus Sixten Inc.

庁舎／茨城県久慈郡大子町

茨城県大子町新庁舎

構造 | 木造 ※準耐火建築物 (45分、一部2時間)

階数 | 地上2階

敷地面積 | 25,888.70㎡

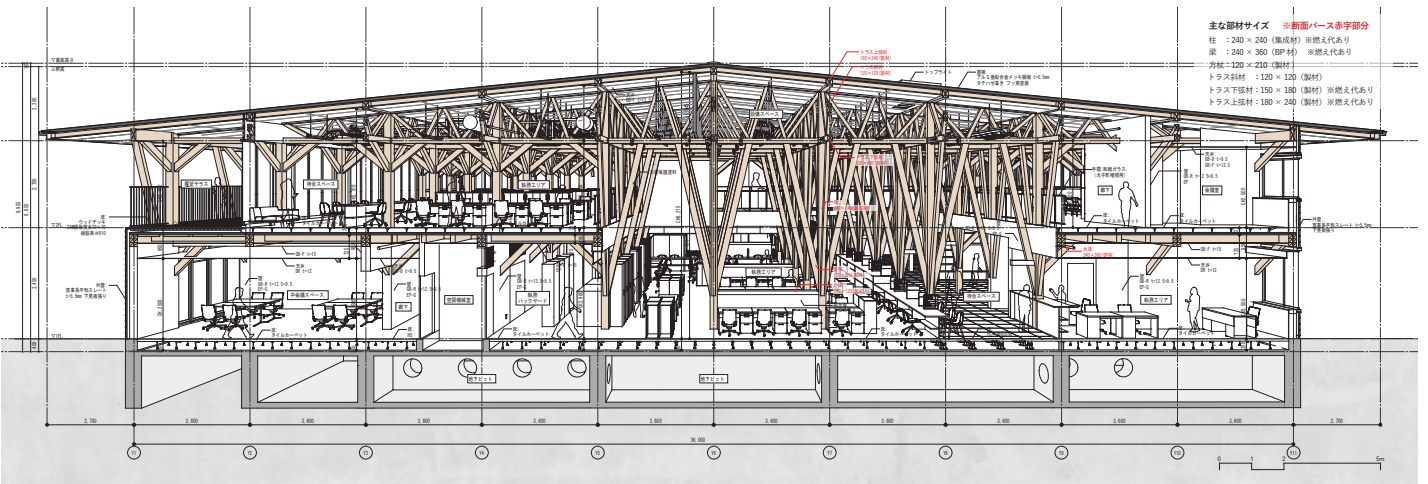
建築面積 | 3,928.22㎡

延べ面積 | 5,074.94㎡ (付帯建物除く)

竣工年 | 令和4年



- 1 執務エリア
 - 2 全景(夜景)
 - 3 ふれあいホール
- 写真…上田宏



断面パース

選評

魅力的な木造架構を特徴とした、庁舎建築の計画である。

近年、大型の木造建築物に関わる規制緩和は進んだものの、木構造そのものを「表現」するには、数多の技術的なハードルを克服する必要がある。その最たるものが防耐火である。本計画では、建物を3,000㎡ごとに区画することで準耐火建築物としてとりまとめつつ、経済的な合理性を考慮し、特徴的な木の構造体を

前面に押し出して、印象的でありながら庁舎建築というプログラムに合致した空間を生み出すことに成功している。

主要な部分は、二層分の高さを持った空間と、その屋根を支持する樹木状の木造架構で構成されている。柱のピッチは縦横とも3.6mで、木造的には都合がよさそうだが、図面を見る限りでは林立しすぎではなかろうかとの疑問を抱いていた。しかし、実際に訪れてみると、目通り

の高さまで1本の鉛直部材でまとめられ、上部に向かうにつれ枝分かれしていく樹木を連想させる木架構のためか、まったく邪魔にならない。むしろ、空間にリズムやスケール感をもたらし、木架構の下に心地よいワークプレイスや人間の居場所を生み出すために不可欠の要素となっている。高い評価に値する作品である。

(山梨知彦)